

RIHN-KLASICA WORKSHOP 2026



Research Institute for
Humanity and Nature
大学共同利用機関法人 総合地球環境学研究所
人間文化研究機構

日時：

2026年2月8日(日) 10:00-18:30
2月9日(月) 14:00-18:00

場所：

総合地球環境学研究所 講演室および Zoom

オンライン参加ご希望の方はお問い合わせください。

意思決定と超学際研究のパラダイム 包括的意思決定の社会的・科学的側面に注目して

ワークショップは以下のテーマに沿った一連のセッションで構成されます。

THEME リーダーシップ

- 1 集団行動のための包括的な意思決定を招集・実施するリーダーシップの役割、制度、限界は何か？
誰が主導し、どのような権限で誰が直接参加し、誰を代表し誰が代表されないのか？ その理由は何か？

THEME 多様なステークホルダー間のガバナンス

- 2 信頼構築、個人および集団の主体性、効果的なガバナンスプロセスを通じて、ステークホルダーや影響を受ける個人や集団間の生産的な意思決定プロセスを促進する戦略、方法、規範またはガイドラインは何か？

THEME 限られた資源の共有

- 3 複雑なシステム的リスク、高ストレス、それが長期化した状況（災害や紛争など）下における限られた資源（土地や水）の共有に関する複雑な意思決定システムはどうなっているのか？

THEME 評価

- 4 超学際研究プロジェクトの全期間にわたる有形・無形の成果を追跡・評価すること。これには、関連コミュニティ内の異なるセクターやグループに利益と負担がどのように影響するかの分析、研究プロジェクトへの透明性のある内省的プロセスの組み込みを含む方法は何か？

THEME 効果と影響

- 5 複数の空間的・時間的スケールにわたるプロジェクトの影響の考慮：地域コミュニティや景観への関連性と、より広範な地理的・文化的文脈における適用可能性のバランスを取る方法は何か？

報告・討論参加者

EREC 委員・前 EREC 委員

Ilan Chabay, Roy Bin Wong, Ruth Meinzen-Dick

Jennifer Helgeson, Frederic Joulian

佐藤 哲（愛媛大学）

May Aye Naw Thiri（東京大学）

総合地球環境学研究所

山極 壽一、浅利 美鈴、莊林 幹太郎、谷口 真人

松田 素二、Daniel Niles、吉川 成美、Grace Wong

大山 修一、Janet Dwyer、田村 典江

Alimata Sidibe、Chris Leong

主 催

総合地球環境学研究所

KLASICA 環境教育プログラム・社会変革のための知識と学習
(Knowledge, Learning and Societal Change Alliance)

問合せ

総合地球環境学研究所 環境文化創成プログラム

連絡先 電話：075-707-2355 E-mail：fukinotou@chikyu.ac.jp

※オンライン参加希望の方は上記にご連絡をお願いします。